

# Heroldo de HEL

N-ro 2. 1. Feb. 1983

## 受講申込すでに9名

### Korespoda-Sombenda Kurso

昨年の北海道大会で講演された梅田善美氏の金子  
 意で、村井氏の一番苦手な「聞く」「話す」ことを鍛え  
 るために上記のKURSOをやつてもらつておりました。  
 家にて一人で上達できる方法です。地方の方々に  
 十分に利用して頂きたいと思ひます。札幌では1  
 月から学習を試み成果をあげております。初等講  
 習終了程度を対象として企画されていますが合  
 意に自信のない方も、後習用にも有効です。  
 sombendoの、そして答案の受渡に手数料がかかります  
 ますので、世話役を北島さんにしたのみならず、北島さんから  
 一部の方に案内したとのことで、すでに9件の申込が  
 ありました。受講方法の概観は下記のとおりです。  
 が詳しくは北島さんに受講要領を請求して下さい。  
 (岩手県山手町2-1-2 北島瞳 Tel.(0144) 6244<sup>73-</sup>  
 (60分)

▲受講者にはオノオノのテープが送られる。送れ  
 て来たら、テープを通して聞き、どのような学習内容  
 が録音されているか確認、各 lecionoの前に指示  
 されている方法に従つて学習、或はグループ学習を  
 行い、lecionoごとに答案を指導担当者に送る。  
 その後、次の lecionoに進む。全部の学習が終了  
 まで答案をためておかない。各 lecionoの答案は  
 受講者の理解力に応じて添削され返送されるので、  
 講義や指示に従つて復習する。1本のテープ学習の  
 所要時間は10~20時間の見込み。3ヶ月を限度  
 として受講者自身が時間割を作成する。グループ  
 学習の場合は、答案はグループにつき1冊として添削

**Nekrologo** s-ro Josicugu HANABUSA  
 sapporo-aino 18. Feb 1982.

060 札幌市中央区南1.西3. 才4銀行(旧ビル)7F  
 中央テレビ学院内 北海道エスペラント連盟  
 58.2.1 発行 振替種小樽 17075

## LUDOMO

Domposedanto algluis afiŝon  
 por luigi sian domon. Iu peto-  
 lulo malgluis ĝin. Kelkfoje  
 ripetigis la algluado kaj de-  
 gluado de la afiŝo. Li faris  
 iĝis... Fine, anstataŭ afiŝo li  
 faris lignotabulon, sur kiu li  
 skribis "LUDOMO", kaj fiksis  
 ĝin per longaj najloj. ..Bone,  
 tiel ĝi ja utilos dum kelkaj  
 jaroj! ..Kontente li murmuris.

## 70a日本エスペラント大会 日程決る

日時 8月6-7日. 8日はEPAの発足60周年特

会場 = 京都府亀岡市立亀岡会館 及 大本本部

参加費 4月末迄、7月末迄、8月以降 不在参加

1般 4,500円 5,000円 5,500円 2,000円

中学生 2,000円 2,500円 3,000円 後500円

宿泊費(1泊費用) 季節料理・朝食・温泉・バス

1,800円(5人部屋) 送迎バス付・各室冷房・トイレ

以下の部屋は食費別、禁煙

□. 4,500円(2人室) 冷房付 ホ. 1,500円 8人室 冷房なし

ハ. 2,000円(4人室) " 入. 1,000円 大広間 "

ニ. 1,500円 大広間 "

行事 ▲ 八木杯の復活 → 弁論大会

▲ 文芸インクル メ切. 7月20日 (応募規程あり)

部門: 原作詩、翻訳詩、原作散文、翻訳散文

申込み、問合せ

〒621 京都府亀岡市天恩郷、大本本部内

オ70回日本エスペラント大会準備委員会

郵便振替 京都6-30112

## Zamenhofa festo 札幌 12/19, 15名

12/5 小樽 15名    12/12 室蘭 5名  
12/5 北見 12名

Senlace antaŭen!

## 国際 Esperanto 合宿の由来

7/4~22 サンフランシスコ州立大学で、

講師 = 梅田善美とアド・ピセン(口述翻譯者)

JEI実用学科担当の梅田氏が講師となって行なわれる。この合宿は、初、中、上の3クラスで、ことし14年目を迎える。授業のない土日は地元 Esperantist との交流(曲)受講費は、1単位60ドル(約15,000円) 茶費は1週当り101ドル(約25,000円) 月金は3食付、2人室でルームメイトは何国人? みんな esperantisto、格安の航空券を利用すれば、6-7万円で海外へ往復可この講座のあと、北米 Esperanto 連盟の大会(22-26)に出席し、北米の E-istoj とハンガリーの世界大会への団体旅行にも参加できるとのこと。受講申込、問い合わせは:  
114 東京都北区田端1-28-13-206 梅田善美

## “小樽 Esperanto 協会”

名付けの由来

つい最近、何かと整理中に、いろいろ興味ある記録が出てきた。その中の一つに小樽 Esperanto 連盟規約というのがある。また整理中なので確かな記憶は浮かんで来ないが、印刷された小さな紙片は、往時の小樽 Esperanto 界の一瞥を窺うことできるものがある。その頃の小樽 Esperanto 界を知る人は、今では江口さんだけだと思うが、現在も活発な活動を続けている小樽 Esperanto 協会という名称は、この連盟という考えから出発して、当時の私達が議論の末に名付けたことは確かだ。当時小樽では ESP. 熱が盛上っていて、私達の抱負も大きいものであった。地域別に Es 会とか Es クラブを創って

運動を一層盛んにして、これを連盟に集合させようというのが夢であった。オノ回北海道大会ですら HEL が設立(1932)されていたので、小樽 Es 連盟としたのでは HEL にはばかりがあるといつて、Societo では小さ過ぎるから小樽 Es 運動を統轄のために Otaru Esperantista Asocio という名称にしたことは、当事者の一人であった私が確信している。昭和10年頃のことだったと思うが定かではない。

(札幌 高橋要一)

## 小樽の ZA-festo

ザンホフはとうして12月に生れたのであろうと毎年この時期に考えるのである。商人としての気ぜわしさに暮らす師走であるからだ。戦前には稲穂の菓子店の3階でやったことがあり、下から暖房が上つて来ないので寒くて震えたことがあった。戦後はじめて花園町のサトリ喫茶店での ZA 祭に甘酒を出されて「まい」と思った。今年のザ祭は30余年來の同志早川昇の追悼を兼ねて12月5日花園町グネで開かれた。ずっと昔 Esperanto をやっていた小樽商工金庫専務の横山君、海運局の前田君も出席してくれてうれしかった。札幌から相沢、木村、小林、若小牧から北島、岩舟から桜井さんが参加してくれて有意義だった。会は Espero で始まり、Dr. 山岡の早川君のことについてあいさつがあり、北島さんから Koresponda Sonhenda Kurso についてのすゝめであった。そしてたのふり Verda atmosfero に浸った集りであった。参加者15名。  
(エロ音吉)

## Pluvi 雨ふる

暖かき雨ふる春の野辺の色、

いと新らしくブルービ(古び)たるよし。